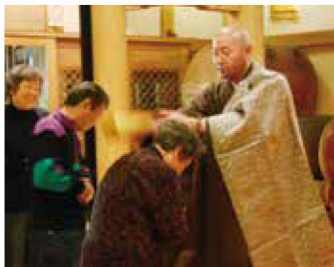




歳末諷経・大般若会御祈祷諷経、除夜の鐘つき

厄を払ってすがすがしい新年を迎えました



厄を払ってもらう参詣者



導師を勤められるご住職



寒さの中、温かい豚汁が大好評



和尚さんにつきそわれての鐘つき

大晦日の12月31日、午後11時から行く年1年間の感謝を込めて歳末諷経が、引き続き正月の法要・大般若会御祈祷諷経が、安本由道ご住職式師のもと、しめやかに執り行われました。法要では蛇腹折りされた経本「大般若経」の一部20巻が転読され、新年にあたって無病息災、祈願成就が御祈祷されました。法要後のご焼香で参詣者はご住職に「大般若経」を体にかけてもらい、厄を払ってすがすがしい新年を迎えました。

その後行われた除夜の鐘つきには、近隣住民はじめ約450名の参詣者が集まり、護持会女性部の皆様手作りの豚汁やふるまい酒で暖をとりながら順番を待ちました。全員の方が鐘をつき終わったのは、午前2時でした。



長蛇の列を作って鐘つきの順番を待つ皆さん



列は幾重にもなり最後尾は鐘楼門前ということも



豚汁の接待に並ぶ皆さん